

## 自立活動指導案（個別）一例

日 時	平成●●年●月●日（●） ●：●●～●：●●			第●限目
対 象	小学部重複学級●年女子	場 所	●●教室	
児童（生徒）の 実 態	<p>・ 気管切開をしており、SpO<sub>2</sub> 値が不安定なため、パルスオキシメーターにて常時呼吸状態を確認している。</p> <p>・ 食事、水分は胃ろう部から注入している。</p> <p>・ 排泄はオムツを使用し、移動は座位保持装置を使用、その他生活全般において全介助である。</p> <p>・ 身体面は、両上下肢機能障害で、両肘・膝関節は屈曲位拘縮である。</p> <p>・ 動作面は、背臥位で足を使って方向転換や側臥位になることができる。また、親指と人差し指で筆や写真を持ち、左右に動かすことができる。</p> <p>・ コミュニケーション面では、快・不快を表情で表し、暑さを感じたときや痰が溜まったとき、自分の思いと違うときなどは、怒って手足を激しく動かす、涙を流すなどで伝えることができる。また、教師の「～したい？」という誘いかけの言葉に、視線を合わせたり腕を動かしたりして「やりたい」という思いを伝えることもできる。昨年度終盤より、教師が「おはよう」と言いながら本児の手に触れると、本児も腕や指を動かして教師の手に触れる姿が見られるようになった。</p>			
イメージする 姿（1年後）	大人からの誘いかけに対し、相手の手（指）に触れることで自分の「～したい」気持ちを伝えることができる。			
指導目標	<p>・ 様々な活動を体験するなかで、興味・関心を広げ、人や物をしっかり見て関わろうとする。</p> <p>・ 楽しい経験を積み、「もっと～したい」という気持ちを膨らませ、その思いを表情や身体の動きで伝える。</p>			
活動（単元）内 容の設定理由	<p>学校生活の様々な場面で、人や物を注視・追視する姿が見られるようになり、友達が楽しそうに活動する姿に、「自分もしたい」「次は自分」と期待の表情で見つめていることも多い。活動に取り組んだ後には、「もう1回する？」という誘いかけに視線を合わせたり腕を動かしたりして「もう1回」を伝えている。その際、教師が手を差し出し、この手に触れることで気持ちを伝えられるように取り組んでいるが、本児から主体的に手が出ることは少なく、教師が本児の腕や指に手を添えて、「もう1回（やって）」を伝えている。本児の興味・関心のある教材教具を準備し、楽しさを実感するなかで「～したい」気持ちを引き出し、相手と手を触れ合わせることでその思いを伝える、というコミュニケーション手段の獲得につなげたいと考えた。</p>			
今 ま で の 評 価	前時（●／●）の 評価 と反省	セラピーボールでの活動では、笑顔いっぱい揺れを楽しむことができ、途中で活動を止めたときには、激しく腕を振って「楽しかった」「もう1回やりたい」という思いを伝えていた。教師の「もう1回する？」の誘いかけとともに差し出した指に、自分から触れにくる姿も見られた。本児から発信された動きをその都度評価し、伝わる喜びを味わい、＜教師の指に触れる＝「もう1回」＞と意識し、伝えられるよう取り組んでいきたい。		
	日常生活 や各教科 等の中 での 評価	自分がやりたい活動には、教師の目をじっと見て「やりたい」という気持ちを伝えている。教師が手を差し出して「やってみる？」と誘いかけると期待の表情を表すが、すぐに自分から教師の手に触れることは少ないが、本児の手を前または後方から介助し、「もう1回やりたい」の言葉を言いながら指に触れると、教師の支援に続いて自ら教師の手に触れることが増えている。		

<p>本時の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の中で、興味・関心を広げ、人や物をしっかり見て、関わろうとする。</li> <li>・セラピーボールでの活動で、「もう1回する?」と聞かれた時に教師の指にタッチして「もう1回やりたい」気持ちを伝えることができる。</li> </ul>		
<p>時 間</p>	<p>活 動 内 容</p>	<p>留意点及び支援の方法</p>	<p>評価の視点</p>
<p>● : ●●●</p>	<p>はじまりのあいさつをする</p> <p><b>活動①</b> ブラッシング体操をする</p> <p><b>活動②</b> セラピーボールで揺れあそびをする。 その中で、「もう1回する?」の誘いかけを行い、教師の指に触れて活動したい気持ちを伝えるという活動を促す。</p> <p><b>活動③</b> 絵本、鈴、タッチベル、太鼓の中から好きなものを選び、活動する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視線を合わせ、はじまりを意識できるように言う。</li> <li>・楽しい雰囲気での活動できるように、BGMを流し、歌を歌いながら行う。</li> <li>・しっかり体操を行い、リラックスできるようにする。</li> <li>・セラピーボールで揺れに変化をつけ、その揺れを感じられるようにする。</li> <li>・〈教師の指に触れる〉＝「もう1回」の理解を促す。</li> <li>・本児の手の位置に合わせて、教師の手を差し出す。本児から手が出たときには、すぐに揺れあそびを始め、言語化して評価し、その経験を積み重ねられるようにする。</li> <li>・座位保持装置に座り、眼鏡を装着する。</li> <li>・見やすい位置に楽器等を提示し、好きなものを選ぶよう言葉かけをする。</li> <li>・持ちにくい場合は補助具を使用する。</li> </ul> <p>※常に表情や呼吸音、カニューレの状態に留意する。</p>	<p>意識できたような表情や仕草を行ったか</p> <p>身体や表情で楽しさを表すことができたか リラックスすることができたか</p> <p>教師の誘いかけに対し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視線を合わせることができたか</li> <li>・指に触れることができたか</li> </ul> <p>視線や手の動きで遊びたいものを選ぶことができたか 見たり操作したりできたか</p>
<p>● : ●●●</p>	<p>おわりのあいさつをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視線を合わせ、終わりを意識できるように言う。</li> </ul>	<p>意識できたような表情や仕草を行ったか</p>
<p>準備物</p>	<p>マット、CD『ブラッシング体操』、CDデッキ、ブラシ、セラピーボール、絵本、鈴、タッチベル、太鼓</p>		